



平成 27 年 6 月 8 日

各 位

会 社 名	日本プラスチック株式会社
代 表 者 名	代表取締役社長 須藤 亘 (コード番号 7291 東証第二部)
問 合 せ 先	執行役員 新浜 隆則
電 話 番 号	0544-58-9080

自転車用エアバッグ事業への新規参入について

日本プラスチック株式会社は、現在自動車用エアバックを自動車メーカー向けに世界ベースで開発、製造及び販売いたしておりますが、今般新事業として、自転車用エアバッグ事業を展開するスウェーデン法人 HÖVDING SVERIGE AB 社とパートナーシップ関係を結び、現在販売中の自転車用エアバッグ (HÖVDING 2.0) の製造および次世代モデルの共同開発を行うことに合意いたしましたので、お知らせいたします。

当該自転車用エアバックは、自転車自体に取り付けるものではなく、自転車を運転する乗員に装着するスカーフ状のウェアラブルなもので、運転者が転倒すると通常の自転車用ヘルメットに対し 3 倍以上の衝撃吸収性能を持つエアバックが展開し、頭部を保護するという画期的なものです (<https://www.youtube.com/watch?v=MHIOD67PKCY> ご参照)。

近年自動車事故による死亡事例はエアバックの貢献もあり低減傾向にあるものの、自転車自体による交通死亡事故は、その手軽さ故むしろ増加傾向にある旨聞いております。斯かるなか本製品は事故で命を落とされる方々をおひとりでも多く救う一助になるのではないかと我々は考えております。

今次当社が本製品に関わるということはまさに、皆様の安全に貢献したいという当社の企業理念に則ったものであり、また当社の技術やリソースを最大限に活用できるものでもあり、当社といたしましては多少なりとも世の中のお役に立つことができるのではないかと志のもと、事業進出を決意した次第です。

また本件事業は、社会的に地球環境や健康増進が注目される中、大きなマーケットで今後の発展も期待できる自転車分野への進出となること、またエアバックのポータビリティ化、ウェアラブル化という先進性、応用可能性への足がかりともなること等から、当社といたしましては、本年 2 月 10 日に発表致しました微生物によるウレタンリサイクル技術と同様に、将来の新たな事業展開の中での重要なシーズとすべく、大切に育て参りたいと考えております。

なお、当該自転車用エアバッグにつきましては来年春の生産開始を目指して参りますが、当該自転車用エアバッグは、立ち上げ期でもあり、徐々に認知が広がりつつあるものの、当面の当社業績への影響は限定的なものと考えております。

注：HÖVDING SVERIGE AB 会社概要

2006年に設立、2011年に自転車専用エアバック「HOVDING」を発表し昨年完売。本年1月より第二世代であるHÖVDING 2.0の販売を開始し、2月には日本市場にも進出、現在15カ国で順調に業容を拡大している注目企業。

以 上

